

調査件名

試験年月日

試料番号 (深さ)

2-1 (1.50~2.40m)

試験者

供試体を用いる試験の基準番号と名称		JGS 0522-2000 土の圧密非排水(CU)三軸圧縮試験			
試料の状態 ¹⁾		乱さない		土粒子の密度 ρ_s ³⁾ g/cm ³	2.652
供試体の作製 ²⁾		トリミング法			⁴⁾
土質名称		粘土			⁴⁾
供試体 No.		1	2	3	4
初期状態	直径 cm	3.49	3.46	3.47	3.50
	平均直径 D_i cm	3.50	3.49	3.47	3.51
		3.49	3.47	3.47	3.50
	高さ cm	3.49	3.47	3.47	3.50
		7.99	8.00	8.00	7.99
		8.00	8.00	8.00	8.00
	平均高さ H_i cm	8.00	8.00	8.00	8.00
	体積 V_i cm ³	76.53	75.66	75.66	76.97
	含水比 w_i %	96.5	105.2	144.6	153.4
	質量 m_i g	107.74	103.86	98.85	98.18
	湿潤密度 ρ_{ti} ³⁾ g/cm ³	1.408	1.373	1.307	1.276
	乾燥密度 ρ_{di} ³⁾ g/cm ³	0.716	0.669	0.534	0.503
	間隙比 e_c ³⁾	2.702	2.964	3.965	4.269
飽和度 S_{ri} ³⁾ %	94.7	94.1	96.7	95.3	
相対密度 D_{rc} ³⁾ %					
設置・飽和過程	軸変位量の測定方法	外部変位計によって測定			
	設置時の軸変位量 cm	0	0	0	0
	飽和過程の軸変位量 cm	0	0	0	0
	軸変位量 ΔH_i ⁵⁾ cm	0	0	0	0
	体積変化量の測定方法	計算による			
	設置時の体積変化量 cm ³	0	0	0	0
	飽和過程の体積変化量 cm ³	0	0	0	0
体積変化量 ΔV_i ⁵⁾ cm ³	0	0	0	0	
圧密前(試験前)	高さ H_0 cm	8.000	8.000	8.000	8.000
	直径 D_0 cm	3.490	3.470	3.470	3.500
	体積 V_0 cm ³	76.53	75.66	75.66	76.97
	乾燥密度 ρ_{d0} ³⁾ g/cm ³	0.716	0.669	0.534	0.503
	間隙比 e_0 ³⁾	2.702	2.964	3.965	4.269
	相対密度 D_{r0} ³⁾				
炉乾燥後	容器 No.	14	15	16	17
	(炉乾燥供試体+容器)質量 g				
	容器質量 g				
	炉乾燥質量 m_s g	54.83	50.62	40.41	38.74

特記事項

- 1) 試料の採取方法、試料の状態(塊状、凍結、ときほぐされた)等を記載する。
- 2) トリミング法、負圧法の種別、凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界、塑性限界、砂質土の場合は最小乾燥密度、最大乾燥密度等を記載する。
- 5) 設置時の変化と飽和過程およびB値測定過程での変化を合わせる。

[1kN/m²≒0.0102 kgf/cm²]

調査件名

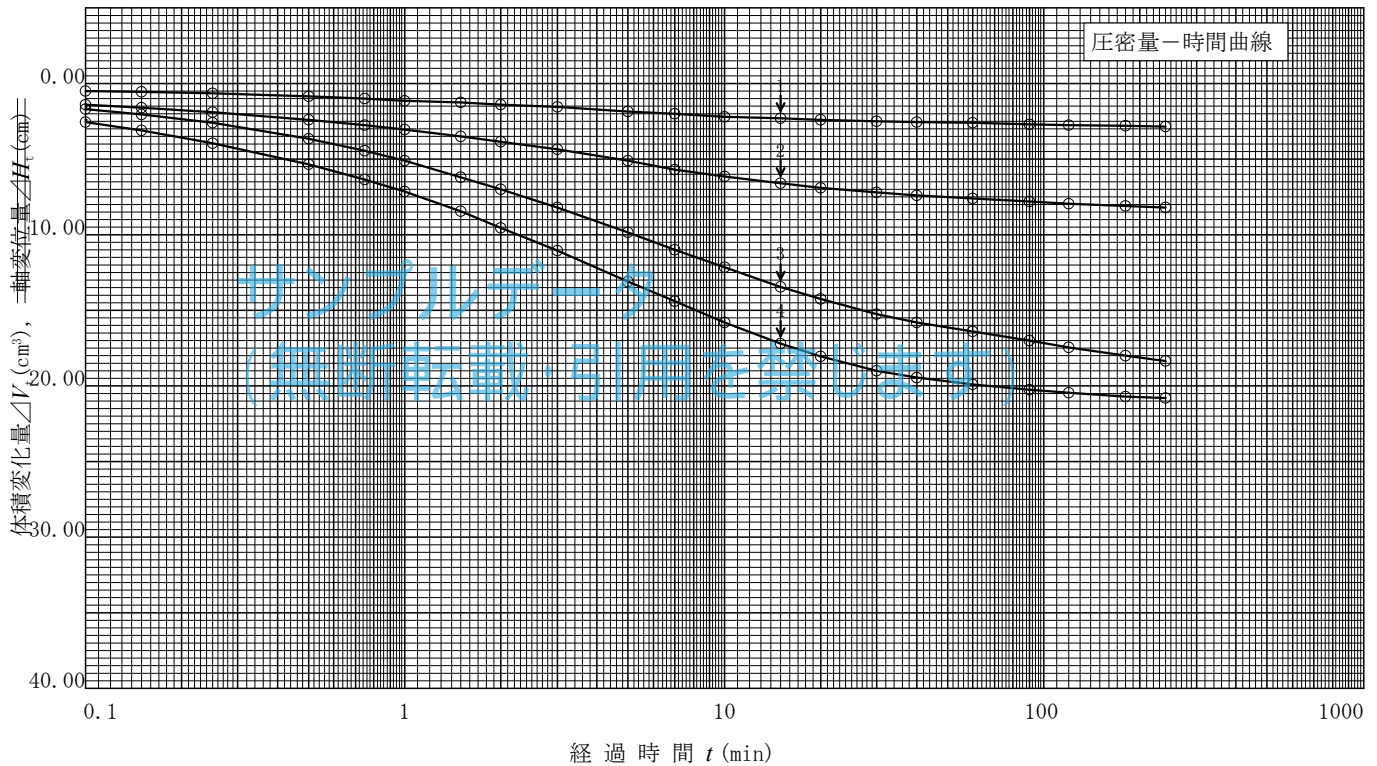
試験年月日

試料番号 (深さ)

2-1 (1.50~2.40m)

試験者

試料の状態 ¹⁾		乱さない	液性限界 $W_L\%$ ⁴⁾		133.5
供試体の作製方法 ²⁾		トリミング法	塑性限界 $W_P\%$ ⁴⁾		52.1
土質名称		粘土	圧密中の排水方法		側方・両端面ペーパードレーン
土粒子の密度 ρ_s ³⁾ g/cm ³		2.652			
供試体 No.		1	2	3	4
試験条件	セル圧 σ_c kN/m ²	125.0	150.0	200.0	300.0
	背圧 u_b kN/m ²	100.0	100.0	100.0	100.0
	圧密応力 σ'_c kN/m ²	25.0	50.0	100.0	200.0
圧密前	高さ H_0 cm	8.00	8.00	8.00	8.00
	直径 D_0 cm	3.49	3.47	3.47	3.50
	間隙比 e_0 ³⁾	2.702	2.964	3.965	4.269
圧密後	圧密時間 t_c min	240	240	240	240
	体積変化量 ΔV_c cm ³	2.84	8.18	18.34	20.80
	軸変位量 ΔH_c cm	0.050	0.267	0.580	0.847
	体積 V_c cm ³	73.69	67.47	57.31	56.17
	高さ H_c cm	7.950	7.733	7.420	7.153
	炉乾燥質量 m_s g	54.83	50.62	40.41	38.74
	乾燥密度 ρ_{dc} g/cm ³	0.744	0.750	0.705	0.690
間隙圧係数 B	間隙比 e_c ³⁾	2.564	2.535	2.761	2.845
	等方応力増加量 $\Delta\sigma$ kN/m ²	20.00	20.00	20.00	20.00
	間隙水圧増加量 Δu kN/m ²	19.46	19.17	19.34	19.41
	測定に要した時間 min	0.5	0.5	0.5	0.5
B 値	0.973	0.958	0.967	0.970	



特記事項

- 1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときほぐされた) 等を記載する。
- 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解凍方法等を記載する。
- 3) 必要に応じて記載する。
- 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]


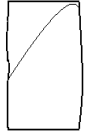
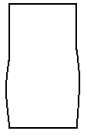

調査件名

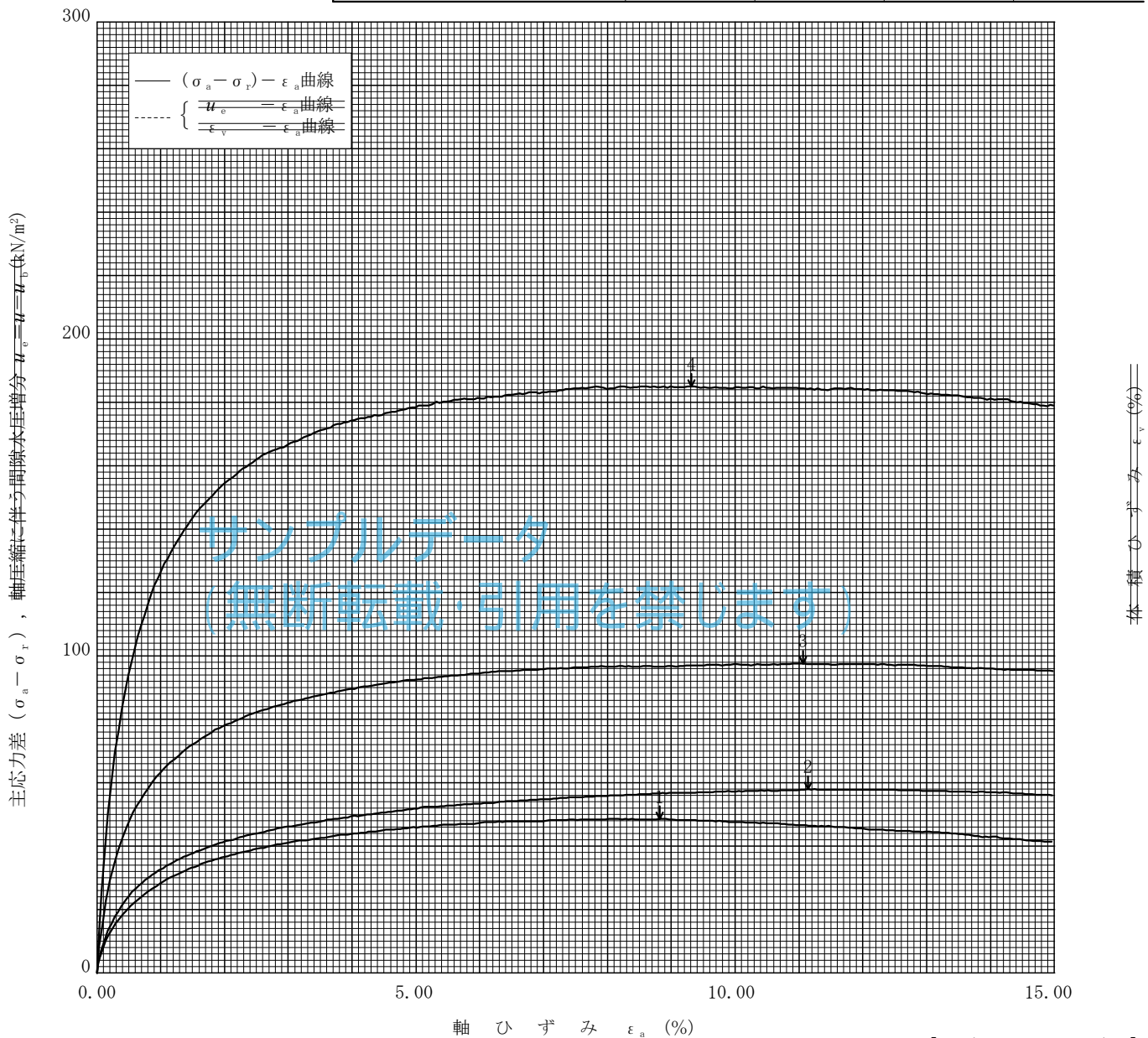
試験年月日

試料番号 (深さ)

2-1 (1.50~2.40m)

試験者

土質名称	粘土	供試体 No.	1	2	3	4	
液性限界 W_L (%) ¹⁾	133.5	セル圧・圧密応力 kN/m^2	25.0	50.0	100.0	200.0	
塑性限界 W_P (%) ¹⁾	52.1	背圧 u_b kN/m^2	100.0	100.0	100.0	100.0	
ひずみ速度 %/min	1.00	圧縮強さ $(\sigma_a - \sigma_r)_{max}$ kN/m^2	48.7	58.0	97.7	185.2	
特記事項 1) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。	主応力差最大時	軸ひずみ ϵ_{af} %	8.81	11.14	11.06	9.31	
		CU	間隙水圧 u_f kN/m^2				
			有効軸方向応力 σ'_{zf} kN/m^2				
		CD	有効側方向応力 σ'_{zf} kN/m^2				
体積ひずみ ϵ_{vf} %							
暗褐色腐植物混入		供試体の破壊状況					



[1kN/m² ≒ 0.1012kgf/cm²]

調査件名

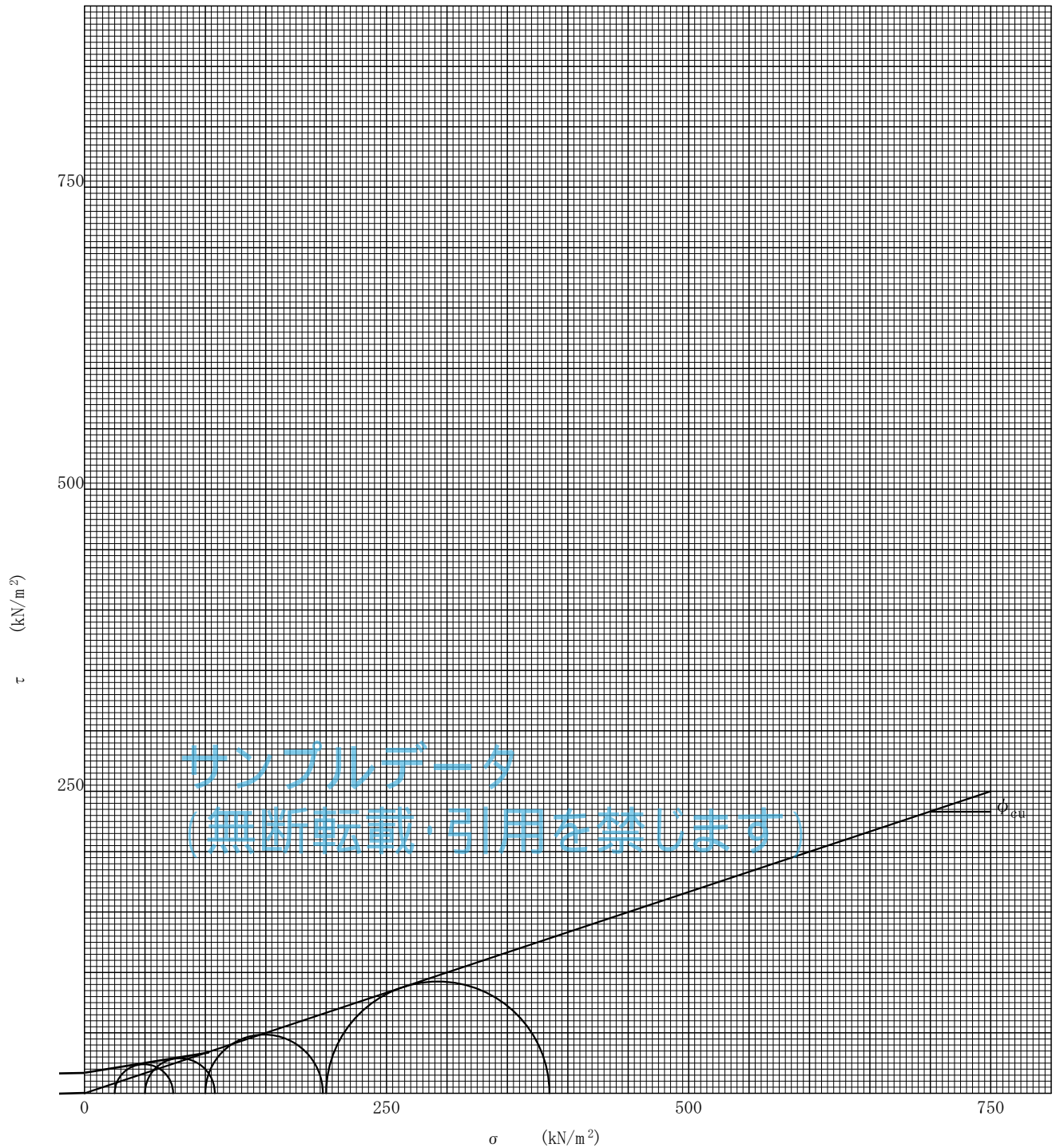
試験年月日

試料番号 (深さ)

2-1 (1.50~2.40m)

試験者

強度定数 応力範囲	全 応 力			有 効 応 力	
	c_{cu} kN/m ²	ϕ_{cu} °	$\tan \phi_{cu}$	c' kN/m ²	ϕ' °
正 規 圧 密 領 域	0.0	18.45	0.334		
過 圧 密 領 域	16.8	9.06	0.159		



特記事項

[1kN/m² ≒ 0.0102kgf/cm²]